

統計表の利用に当たって

- 1) 「業種」及び「資本金」の回答企業数が2社以下の場合、秘匿措置を講じ、「x」表示としている。
- 2) 「階級値平均」及び「実数値平均」は、単純平均である。
- 3) 「階級値平均」は、選択肢の中から選択された各階級の midpoint (例：「10%以上20%未満」の階級の場合は「15%」) の値を用いて算出している。

$$\text{階級値平均} = \frac{\text{各階級の midpoint} \times \text{各階級の回答企業数}}{\text{回答企業数}}$$

ただし、上限のない階級については、midpointの代わりに下限値(例：「20%以上」の階級は「20%」)を、下限のない階級については上限値(例：「20%以下」の階級は「20%」)を用いている。

- 4) 構成比(%)については、小数第2位を四捨五入しているため、足し上げても100にならない場合がある。
- 5) 「-」は、該当値がないものを表す。